



第239回ギャラリー展は、あつい夏・焼き締め展を開催します。

久しぶりに地元の画家宅を伺いました。

画室一杯に作品が山積み状態。その作品の合間からリーン・リーンとすずの音が。大きな数個の飼育箱に鈴虫が3000匹ちかく飼われていました。

飼育箱を覗くと、はがき大の板が100枚ほど。1枚の板に20匹近くが等間隔で住んでいます。境界線を侵さない不文律協定がある光景でした。

清涼感のすずの音の中で作品1点買い求めることが出来ました。

今年のあまりの暑さにエイッと暑さの中で焼きしめられた作品を展示することにしました。

焼き締めは化粧釉薬を施さず土味を最大限に引き出す技法です。炎が造りだす神のみぞ知る、の世界です。魔法にかけられる瞬間です。

焼き締めの作品はあらゆるところで焼かれますが備前・信楽・丹波・越前などが有名です。炎にさらされた変化は見事です。

茶碗、徳利、鉢、急須など10数点展示します。

1点1点、変化を楽しんでいただければ幸いです。